

# 赤木小学校

## 1、川原のようすと流水のはたらき

### (1) 調べる場所

逢瀬川の相生橋

(自動車等に十分注意する)

### (2) 土手の上から川原の様子や水の流れを観察する。

① 土手の道路で自動車の交通の妨げにならないよう川の側に並んで、川の全景をスケッチする。

② 川原や橋なども書き入れる。

③ 川の流れが曲がる所で、川原は流れのカーブの内側にできているか、または外側にできているか。他の場所でも調べる。

④ 旧国道にかかる橋の近くの土手が、けずられています。それは流れが曲がっている内側の岸ですか、外側の岸ですか。また、その原因について考える。

### (3) 川原に下りて、流水のはたらきを調べる。

① 相生橋下の川原から向こう岸に進むにつれて、深さはどう変わっているか。

② 川原の近くと、向こう岸の近くで、それぞれ10mの長さを取り、流速を測定する。

③ 川の流速と川の深さとの間にどのような関係があるか。また、流速と川岸のけずられ方との間にどのような関係があるか、話し合ってまとめる。

④ 川原は、まる味を帯びた小石や砂が積もってでき上がっている。これらの

